

# 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H20試験)7~21日(もも)、3日(だいち)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(煙)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は24日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は24日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマコバチ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	アリガタシマアザミウマ	幼虫は×、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験) 幼虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験) 幼虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験) 若虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験) 幼体:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	パチルスズブチリス	芽胞は	パチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
アセタミプリド	モスピラン(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアーナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	なし		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H20試験)26日(かき)、7日(レタス)、3日(キャベツ)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	幼虫は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は14日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は、影響のなくなるまでの期間は21日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は35日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツヤコバチ	蛹は、成虫はx、影響のなくなるまでの期間は30日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーはx、成虫はx		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H18試験)成虫:10日未満(10日以前未調査)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	マミーは、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	蛹は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	チチュウカイツヤコバチ	成虫はx		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	幼虫は、成虫はx、影響のなくなるまでの期間は14日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 x :75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 x :99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	成虫は、影響のなくなるまでの期間は21日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	フジコナカイガラムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:19日(かき調査結果(39日後まで局所的に影響が	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	ヨトウバチ類	蛹は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	アリガタシマアザミウマ	幼虫は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	クサカゲロウ類	幼虫は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	シヨクガタマバエ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	シヨクガタマバエ	幼虫は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	幼虫は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は14日以上		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H18試験)幼虫:10日未満(10日以前未調査)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験) 幼虫:3~7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験) 幼虫:14日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ククメリスカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	スワルスキーカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	デジェネランスカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験) 若虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H18試験)若虫:7日未満(7日以前未調査)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)幼体:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
イミダクロプリド	アドマイヤー	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアーナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 x:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 x:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H20試験)28日以上(かんきつ)、7日(茶葉・茶枝)、3日(だ	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:14~21日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	チチュウカイツヤコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	チビトビコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:14日(茶調査結果)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験)幼虫:14	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミtentウ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験)幼虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

# 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)若虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験)幼体:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポーラ	菌は	エルビニアカロトポーラは乳剤との混用はできないが、3日以上散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
クロチアニジン	ダントツ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル、アルバリ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H20試験)21日(りんご)、14日(なし)、3日(だいず、レタ)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	散布後の露地作物(野菜に限 る)において、葉面残留量が 室内試験の半数致死薬量以 下となるまでの日数(H20試 験)成虫:0日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコ ントロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影 響を与えなくなるまでの日数 (H20試験)成虫:7日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影 響を与えなくなるまでの日数 (H20試験)成虫:3~7日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	サバクツヤコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコ ントロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	チチュウカイツヤコバ チ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコ ントロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	寄生性天敵	フジコナカイガラムシ	露地作物において天敵に影 響を与えなくなるまでの日数 (H20試験)成虫:2.8日(なし 調査結果)	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメム シ	散布後の露地作物(野菜に限 る)において、葉面残留量が 室内試験の半数致死薬量以 下となるまでの日数(H20試 験)幼虫:7日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度IPM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	捕食性天敵	ナミtentウ	露地作物において天敵に影 響を与えなくなるまでの日数 (H20試験) 幼虫:3日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度!PM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル・アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	直接散布 LC <sub>50</sub> ;73.9ppm(24 時間)		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影 響を与えなくなるまでの日数 (H20試験) 若虫:0日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度!PM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル、アルバリ ン	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	クモ類	コモリグモ類	散布後の露地作物(野菜に限 る)において、葉面残留量が 室内試験の半数致死薬量以 下となるまでの日数(H20試 験) 幼体:0日	「野外における農薬 の天敵に対する影響 (露地作物)の目安」 より	平成21年度!PM技術評価基 準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策 定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	その他	エルビニアカロトポー ラ	菌は	エルビニアカロトポー ラは乳剤との混用は できないが、3日以上 の散布期間であれば 近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコン トロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	その他	シュードモナスフルオ レッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコン トロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	その他	パチルスズブチリス	芽胞は	パチルスズブチリス は混用できない剤と でも、翌日以降の近 接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコン トロール協議会</a>	2009
ジノテフラン	スタークル	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺 虫剤	その他	ポーベリアバシアー ナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響 の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコン トロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H20試験)35日(りんご)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H20試験):0.9をこえる(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	成虫は×、影響のなくなるまでの期間は3日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:7~21日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)H20試験):0.9以下~0.7以上(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	チチュウカイツヤコバチ	成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミtentウ	LD <sub>50</sub> :2.60 μg/頭		農業ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミtentウ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H20試験):0.5未満(幼虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

# 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	スワルスキーカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)若虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	キクツキコモリグモ	LD <sub>50</sub> :27.8 μg/頭		農薬ハンドブック2005	(社)日本植物防疫協会	2005
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H20試験):0.9をこえる(幼体)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアクロプリド	バリアード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアマトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H20試験)3日(キヤヘツ)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアマトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H20試験):0.7未満~0.5以上(成虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チアトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験)成虫:14	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)成虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメシ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験)幼虫:14	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H20試験)幼虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアトキサム	アクタラ(顆粒水溶)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	スワルスキーカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアトキサム	アクタラ(顆粒水溶)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	室内試験からの影響指数(天敵半数致死濃度/使用濃度)(H20試験):0.7未満~0.5以上(若虫)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度!PM技術評価基準策定・情報提供委託事業農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアトキサム	アクタラ(顆粒水溶)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は、影響のなくなるまでの期間は0日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 × :75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 × :99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
チアマトキサム	アクタラ	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H20試験) 幼体:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
チアマトキサム	アクタラ(顆粒水溶)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	シュードモナスフルオレッセンス	菌は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアマトキサム	アクタラ(顆粒水溶)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
チアマトキサム	アクタラ(顆粒水溶)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	ポーベリアバシアーナ	分生子は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	天敵類	天敵全般	散布直後の葉面残留量が10%以下となるのに要する日数(H21試験) 21日(なす)	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験) 成虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	イサエアヒメコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は30日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード(粒)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	オンシツツヤコバチ	蛹は、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は28日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。  
 影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。  
 (注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	キイロタマゴコバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験)成虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	コレマンアブラバチ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験)成虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	チチュウカイツヤコバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	寄生性天敵	ハモグリコマユバチ	成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	アリガタシマアザミウマ	幼虫は×、成虫は×		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	タイリクヒメハナカメムシ	露地作物において天敵に影響を与えなくなるまでの日数(H21試験)幼虫:7日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性天敵	ナミテントウ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験)幼虫:3日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	チリカブリダニ	卵は×、成虫は×、影響のなくなるまでの期間は5日		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオロジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方 【出典が「バイオロジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、 ×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、 ×:99~100%

## 化学農薬の天敵に対する影響情報一覧表(ネオニコチノイド系殺虫剤)

化学農薬の天敵類に対する影響について既存の文献を調査して得られた情報を、一覧表にまとめました。

影響の内容については文献に記載されたものをそのまま収録しました。

(注意:天敵に対する影響は、気象条件など環境により変動します。ここに記載された情報についてはひとつの目安としてご利用下さい。)

農薬種類名 (成分一般名)	代表的な商品名	農薬用途	農薬系統分類	天敵グループ名称	天敵名	影響内容	備考	出典(標題)	出典(著者)	出典(年)
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験) 若虫:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	捕食性ダニ類	ミヤコカブリダニ	卵は、成虫は		天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	クモ類	コモリグモ類	散布後の露地作物(野菜に限る)において、葉面残留量が室内試験の半数致死薬量以下となるまでの日数(H21試験) 幼体:0日	「野外における農薬の天敵に対する影響(露地作物)の目安」より	平成21年度IPM技術評価基準策定・情報提供委託事業 農業環境情報収集・基準策定事業報告書	(社)日本植物防疫協会	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	エルビニアカロトポラ	菌は	エルビニアカロトポラは乳剤との混用はできないが、3日以上の散布期間であれば近接散布が可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009
ニテンピラム	ベストガード(水)	殺虫剤	ネオニコチノイド系殺虫剤	その他	バチルスズブチリス	芽胞は	バチルスズブチリスは混用できない剤とでも、翌日以降の近接散布は可能。	天敵類に対する農薬の影響の目安の一覧表(第18版)	<a href="#">日本バイオリジカルコントロール協議会</a>	2009

影響内容の記号の見方【出典が「バイオリジカルコントロール協議会」のもの】

天敵等に対する影響は(野外・半野外試験) :死亡率0~25%、 :25~50%、 :50~75%、×:75~100%、(室内試験) :死亡率0~30%、 :30~80%、 :80~99%、×:99~100%